

修学旅行に向けて

修学旅行の日がやってきました。高校での修学旅行は、皆さんにとって人生最後の修学旅行ということになります。今も昔も、学校生活での一番の思い出として修学旅行をあげる人はたくさんいます。それは、普段と違う環境の中で友だちや先生方と共有した時間が、強い印象として心の中に残るからでしょう。最後の修学旅行が、皆さんの中にも高校時代の「いい思い出」としていつまでも残る旅となってほしいと思います。

今回の修学旅行は、空から沖縄へ向かいます。那覇空港が近づいてくると、島の周りに広がるエメラルドブルーの海が皆さんの眼下に飛び込んでくるでしょう。「美ら海」です。その美しい海を持つ沖縄の悲しい歴史にも触れます。第二次世界大戦で最後の激戦地となった沖縄は、軍民合わせて約24万人余もの尊い人命を失いました。この悲惨な戦争を二度と繰り返さぬよう世界の人種や国家、思想や宗教のすべてを超越した“世界平和のメッカ”とし開園した平和記念公園も見学地の一つです。戦争についてしっかりと考えてもらえればと思います。また、ゆったりと時間が流れている田園地帯で民泊をし、村の人々のあたたかさにつつまれて、体験をしたり自然や文化にふれたり、夜は星空の下で地元の人と語りあう、そんなすばらしい時間を過ごしてほしいと考え、民泊を計画しました。この民泊からもいろいろ学ぶことができると信じています。

最後に、向陽高校での3年間の振り返し点を迎えようとしている皆さんが、そうした普段とは違う集団生活や風景の中で、新しい自分を発見し、これからの高校生活のプラスとなるものを持って帰ってくる、そんな3泊4日の旅となることを心から願って結びとします。一人一人がしっかりと自覚した良い修学旅行にしましょう。